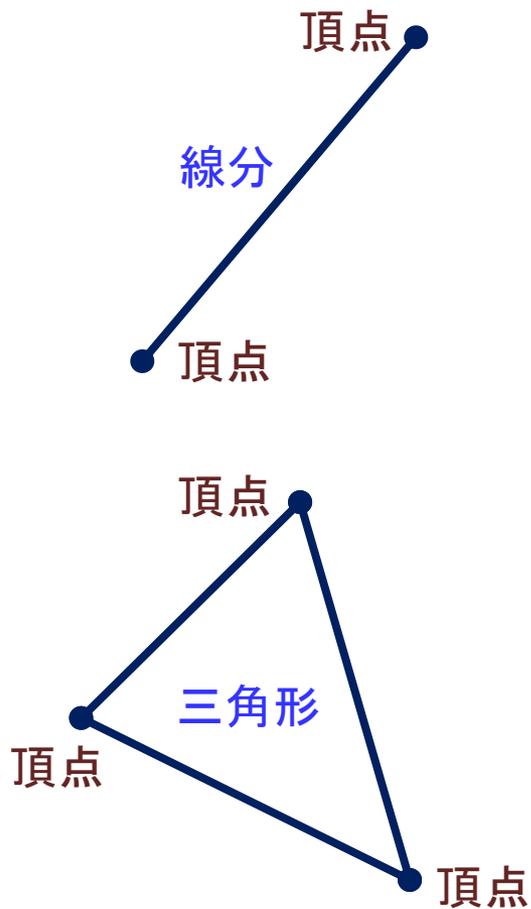


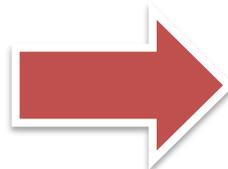
# コンピュータグラフィックス

## 第3回：線を描く

# デジタル画像の生成

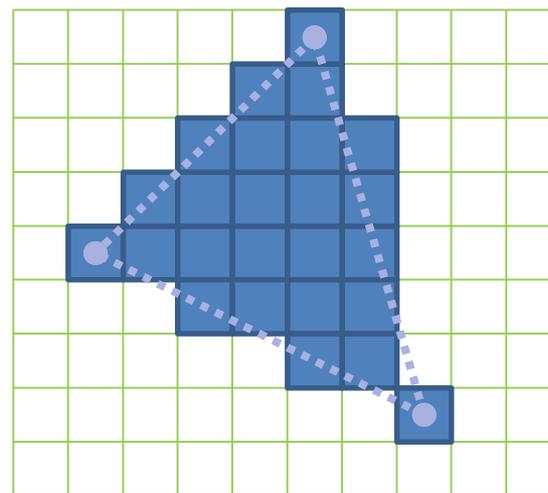
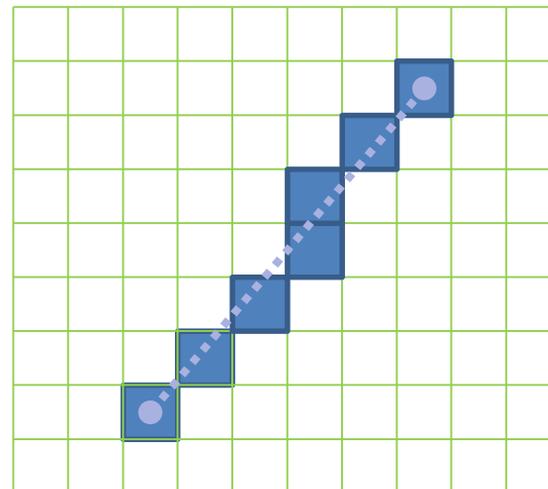


ベクトルデータ



ラスタライズ

Detailed description: A vertical blue box with the Japanese word 'ラスタライズ' (Rasterization) written vertically in white text.



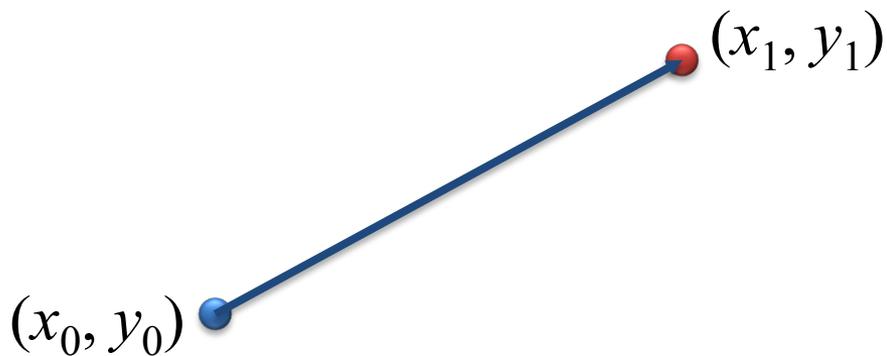
デジタル画像

# 走査変換 (スキャンコンバージョン)

- ベクトルデータのデジタル画像化 (ラスタライズ)
  - 線分を描く
  - 円を描く
  - 台形を塗りつぶす
  - 三角形を塗りつぶす
  - 任意の多角形を塗りつぶす

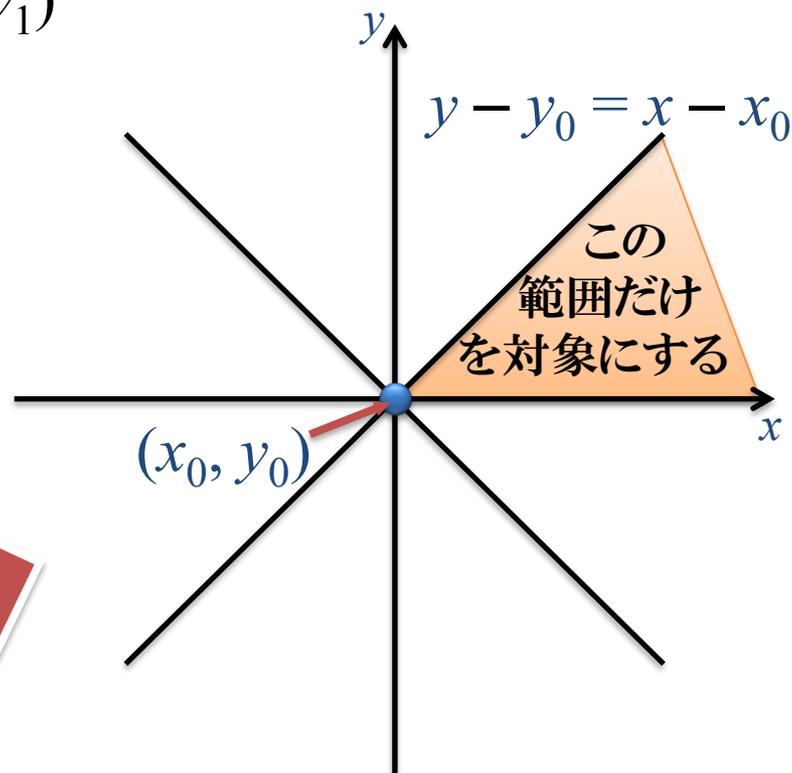
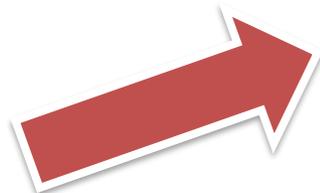
# 線分を描く

## ● 2点 $(x_0, y_0)$ , $(x_1, y_1)$ を結ぶ線分の生成



### ■ 条件

- $x_0 < x_1$
- $y_0 < y_1$
- $x_1 - x_0 > y_1 - y_0$

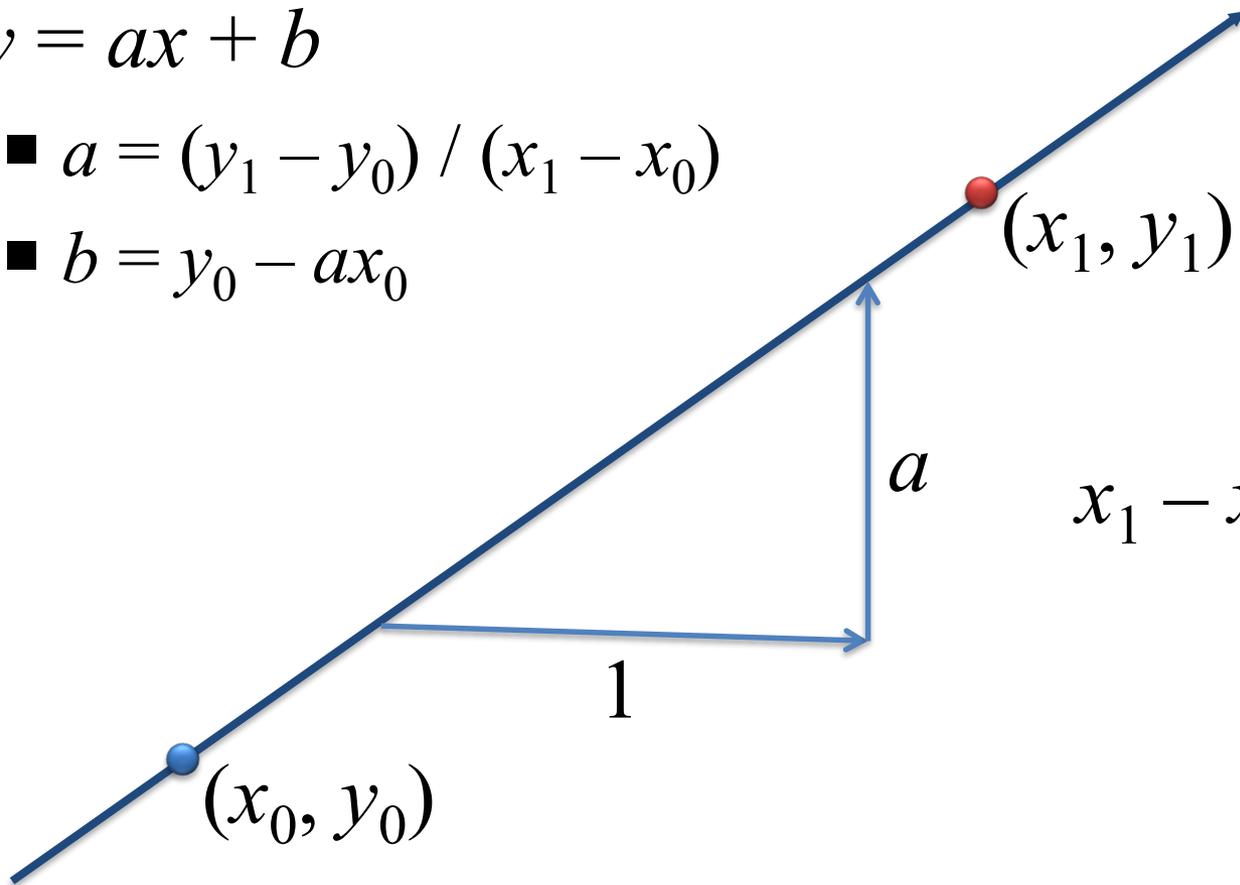


# 直線の方程式

●  $y = ax + b$

■  $a = (y_1 - y_0) / (x_1 - x_0)$

■  $b = y_0 - ax_0$

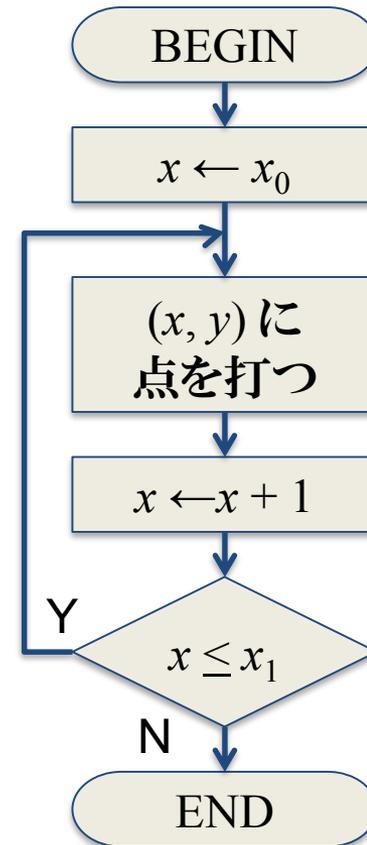
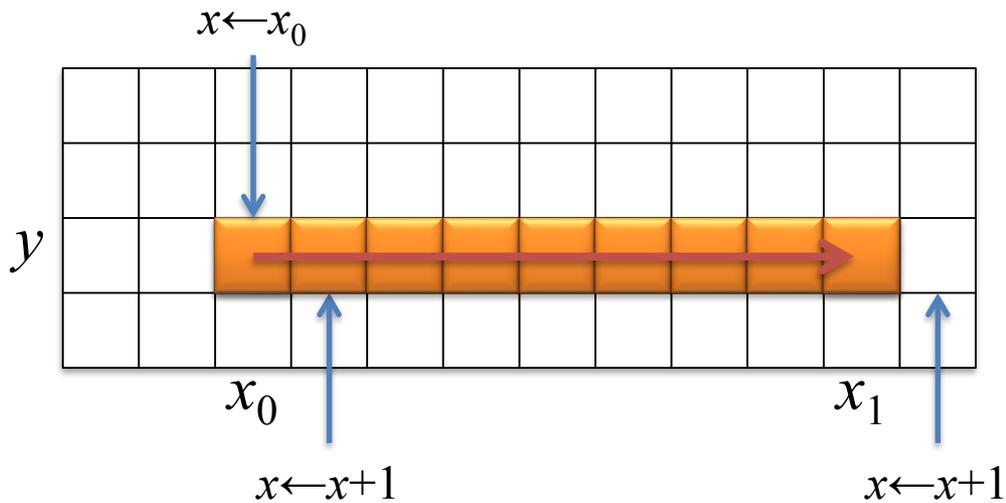


$x_1 - x_0 > y_1 - y_0$

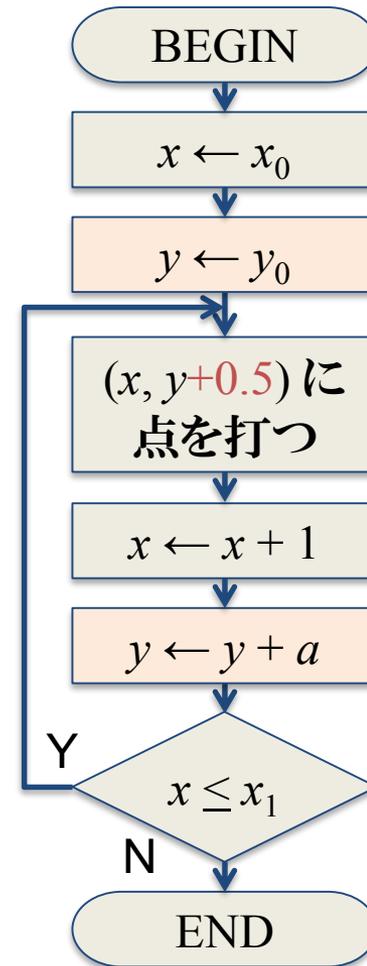
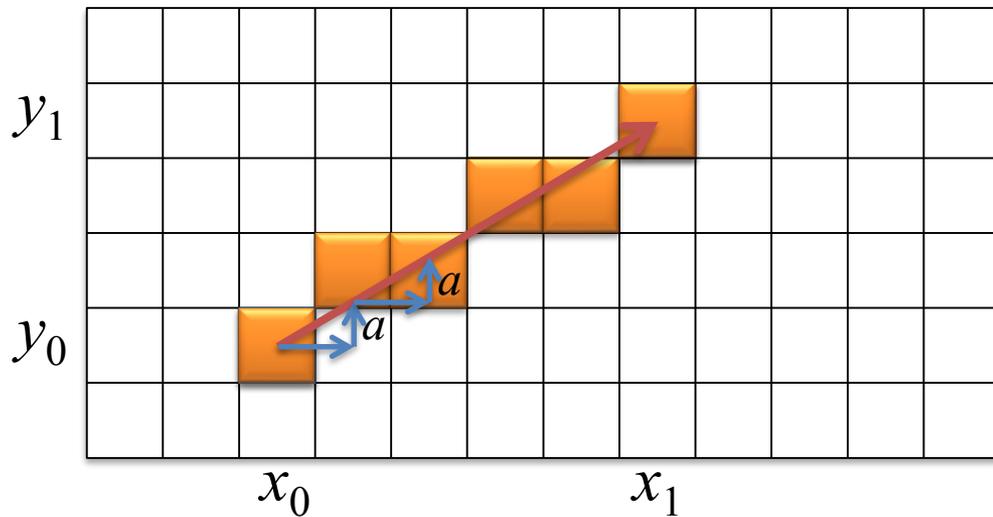


$a < 1$

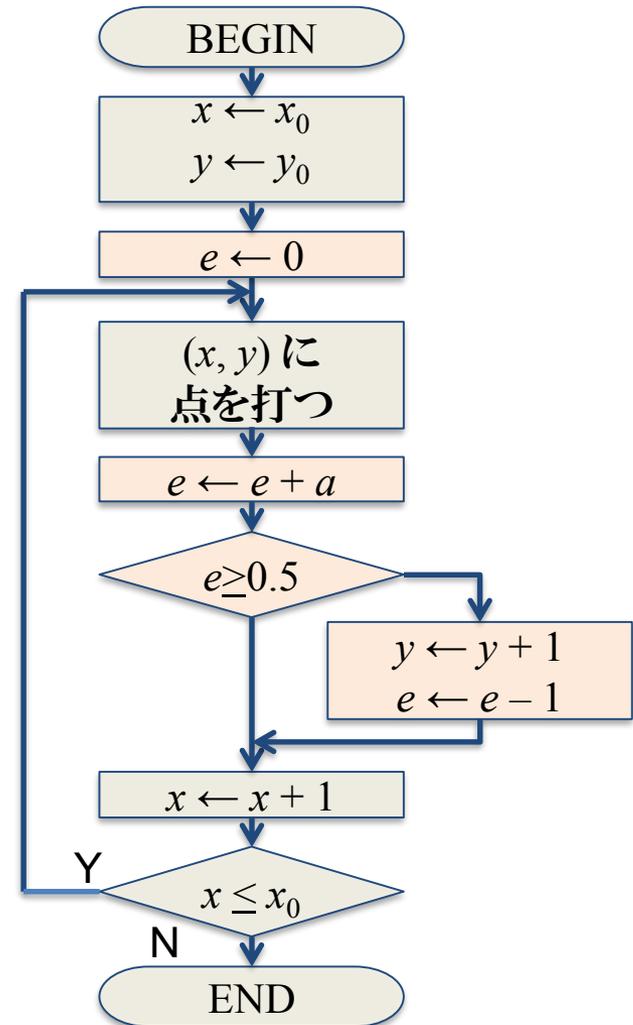
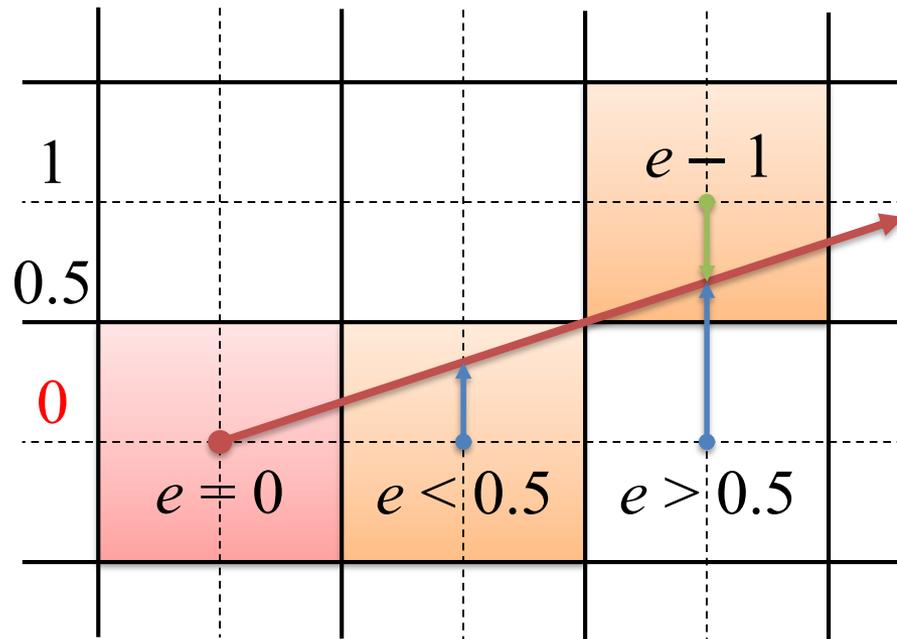
# 水平線を描く



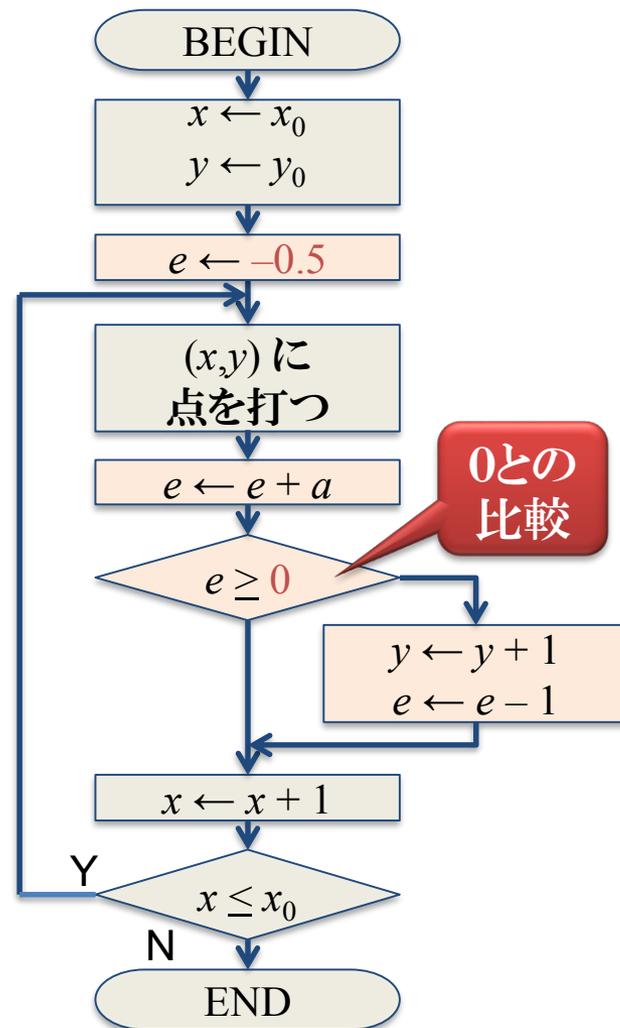
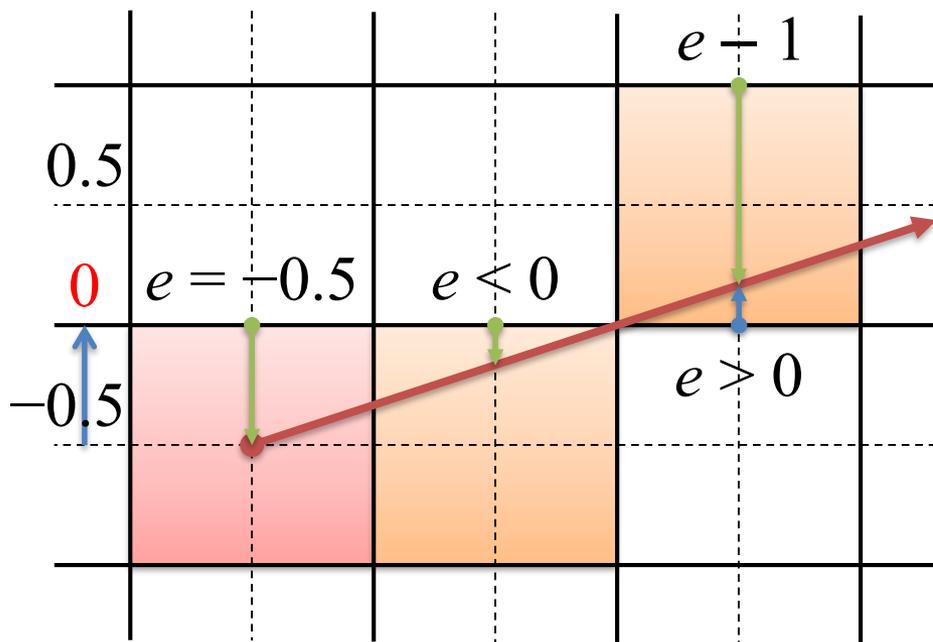
# 傾きを累積して斜線を描く



# 傾きの代わりに誤差を用いる



# 誤差の初期値をずらす

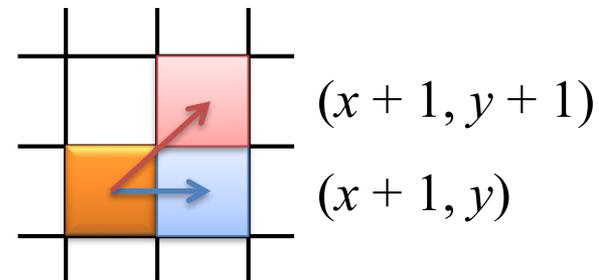


# 処理の整数化

- 次に打つべき点の位置の候補は次の2つ

- $(x + 1, y + 1)$

- $(x + 1, y)$



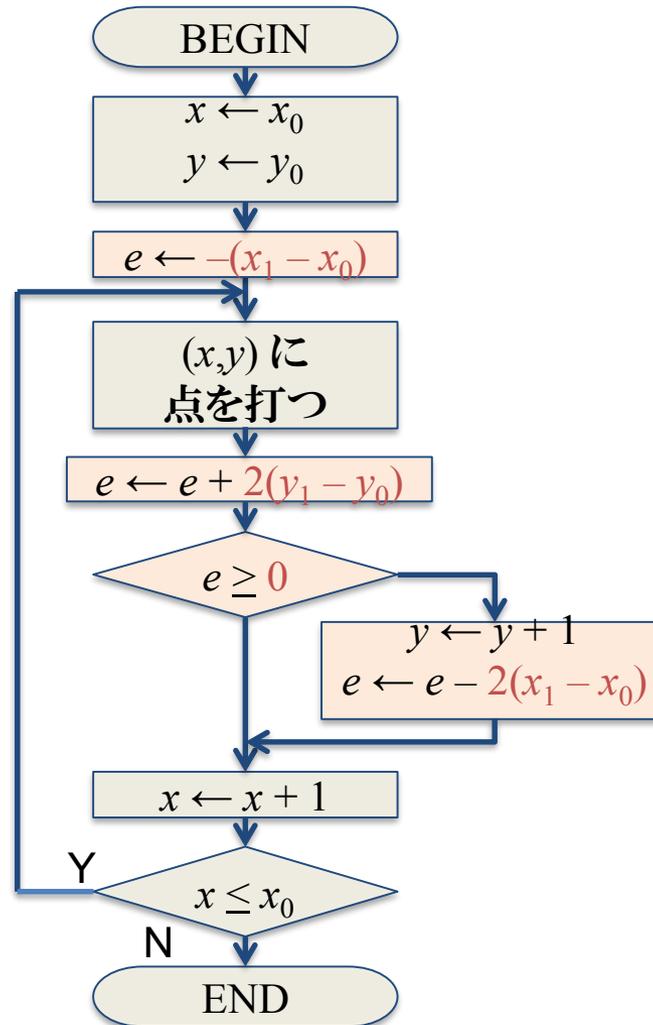
- 上のいずれかを選択する

- $e$  に対する加減算の後, 符号判定により判断できる

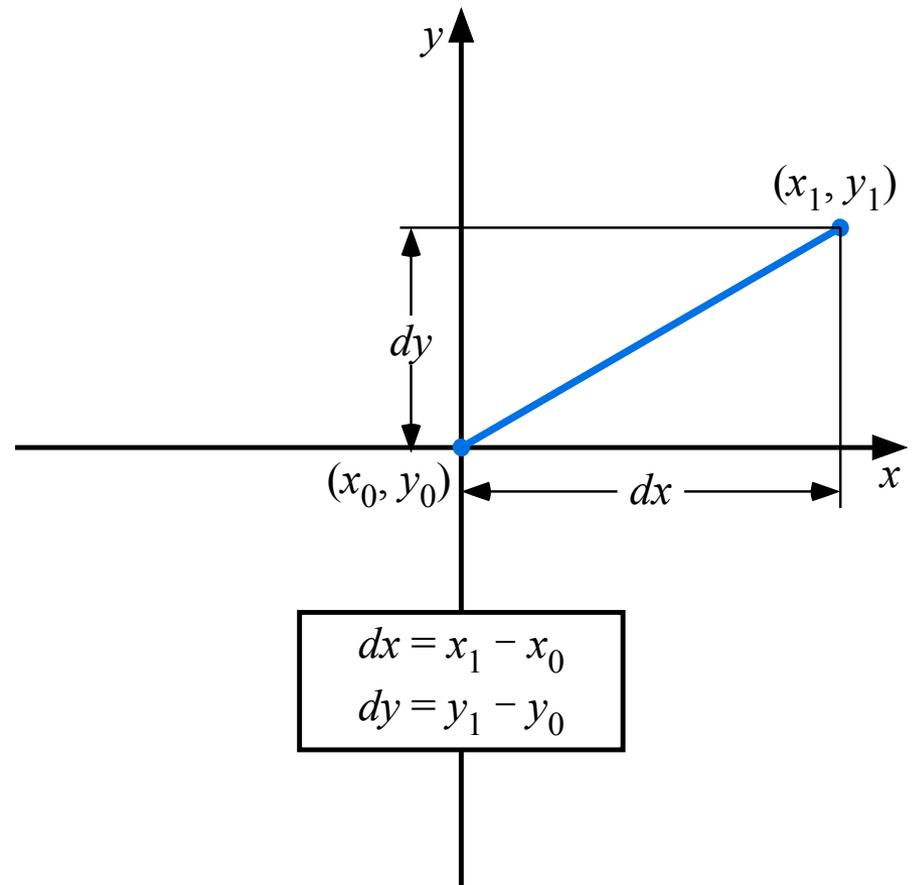
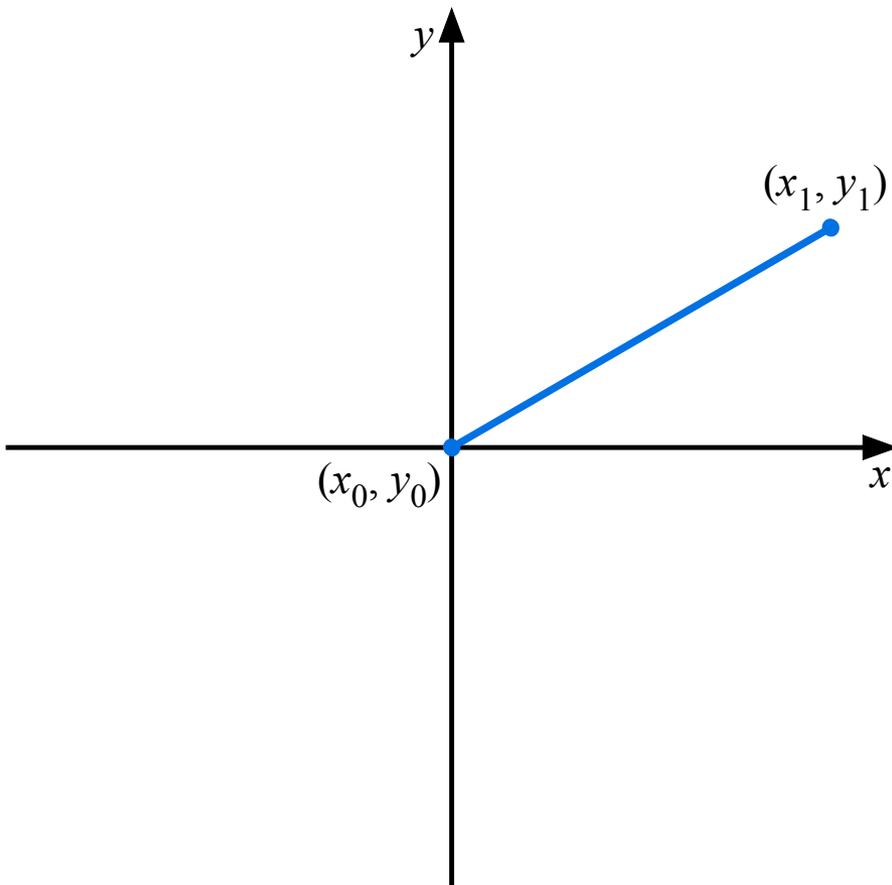
- $e$  に関する処理に正の定数をかけても結果は同じ

- $e$  に関する処理を  $2(x_1 - x_0)$  倍する

# $e$ に関する処理を $2(x_1 - x_0)$ 倍

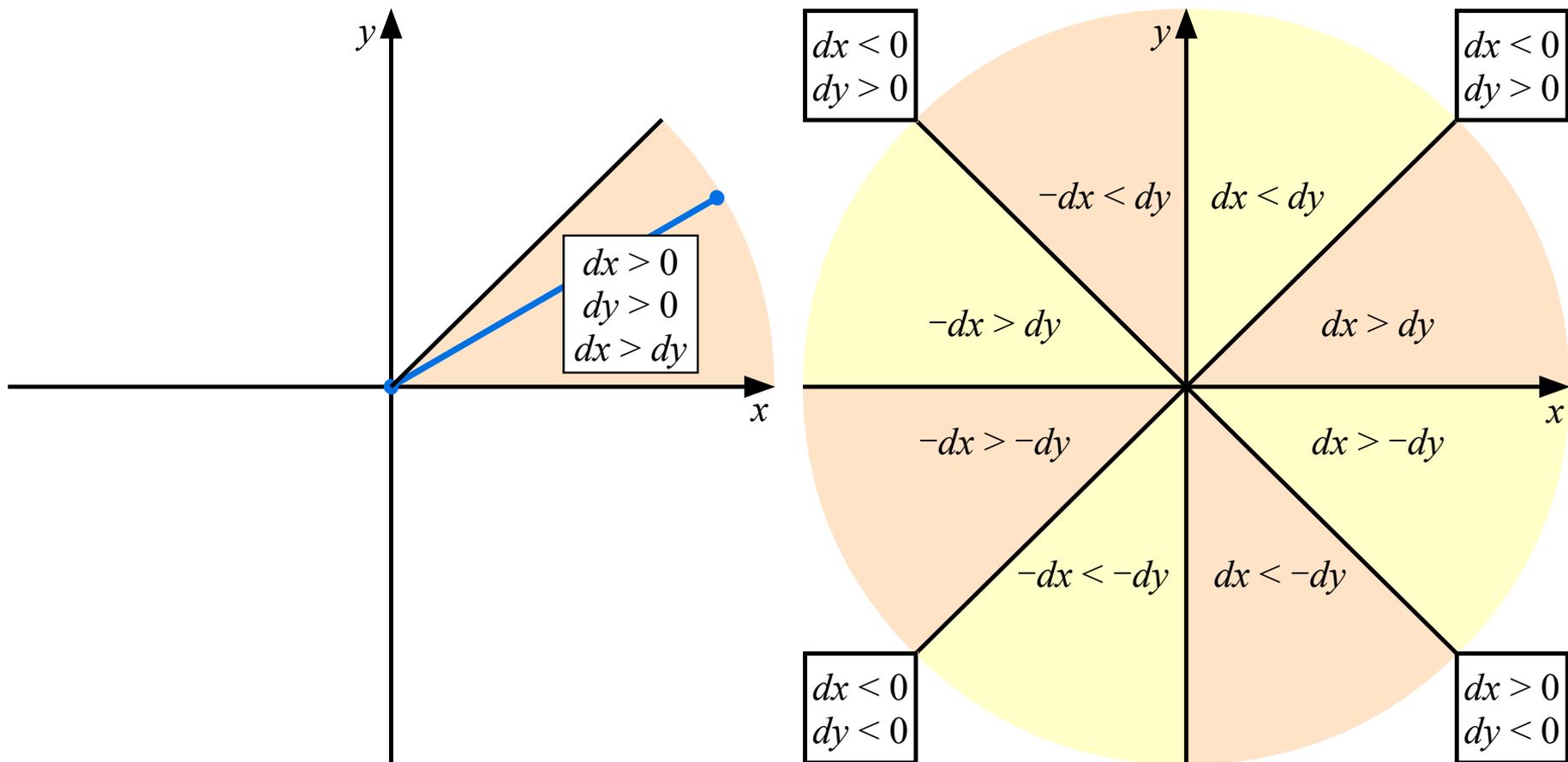


# 始点と終点の変位

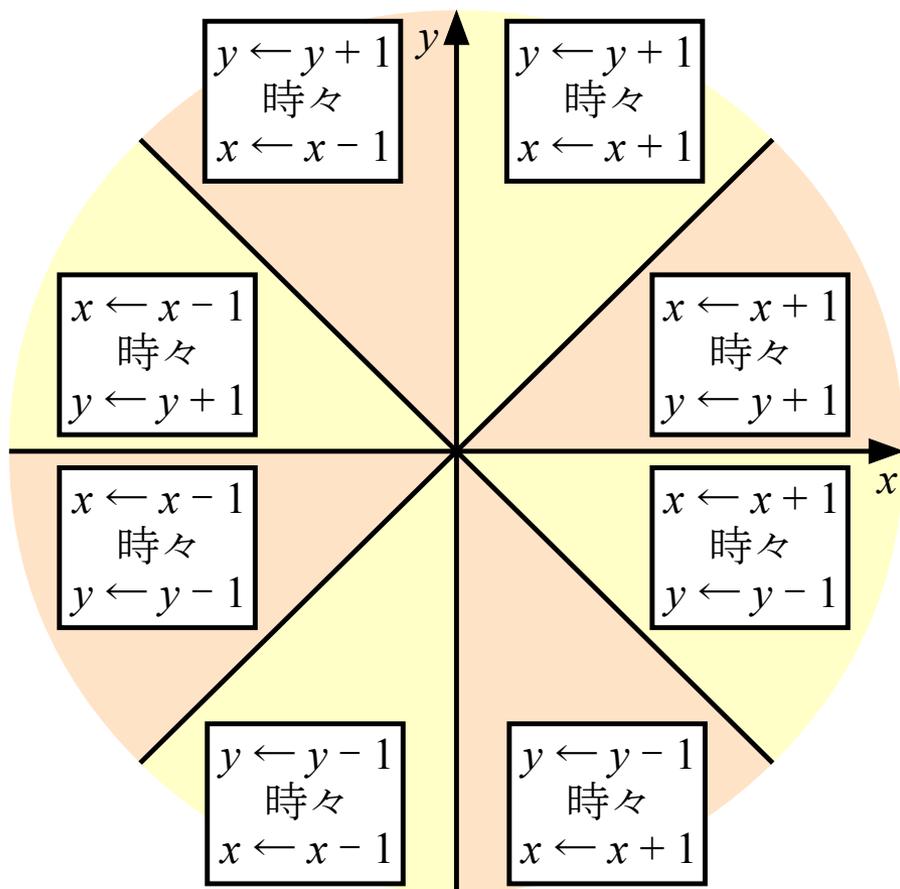


$$\begin{aligned} dx &= x_1 - x_0 \\ dy &= y_1 - y_0 \end{aligned}$$

# 線分を生成する8分の1象限



# 象限ごとの処理



## x の増分計算

$dx \geq 0$  なら:  $x \leftarrow x + 1$   
 それ以外なら:  $x \leftarrow x - 1$

## y の増分計算

$dy \geq 0$  なら:  $y \leftarrow y + 1$   
 それ以外なら:  $y \leftarrow y - 1$

## 増分方向の決定

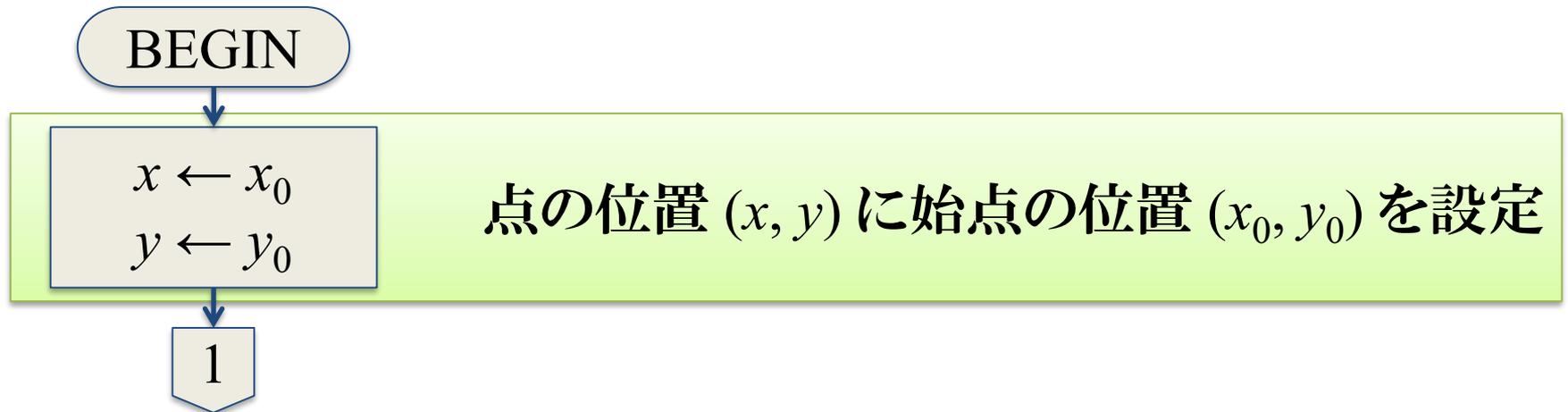
$|dx| \geq |dy|$  なら  
 右を  $|dx|+1$  回  
 繰り返す

それ以外なら  
 右を  $|dy|+1$  回  
 繰り返す

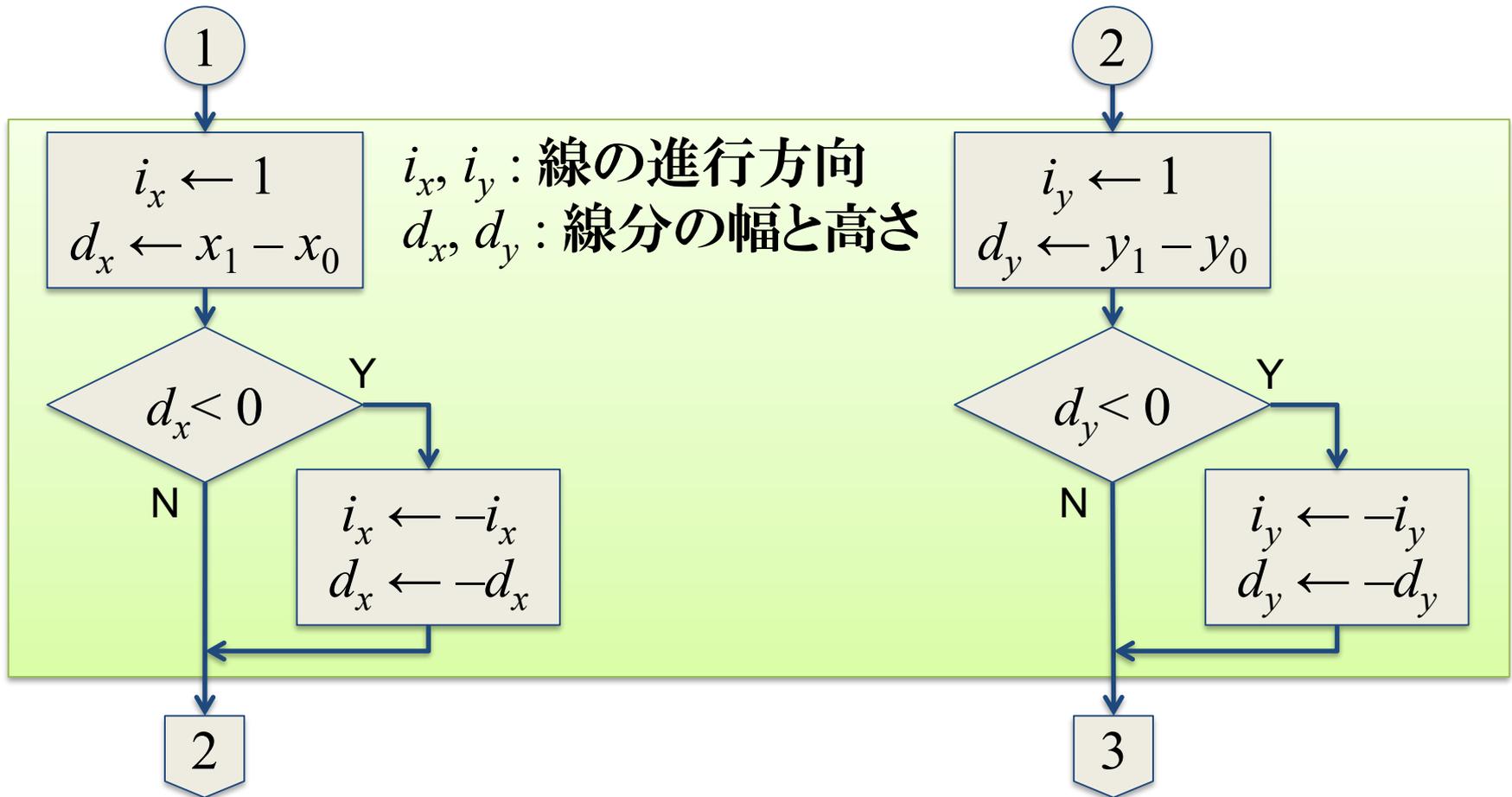
- ・ x の増分計算
- ・ y 方向の誤差判定に基づく y の増分計算

- ・ y の増分計算
- ・ x 方向の誤差判定に基づく x の増分計算

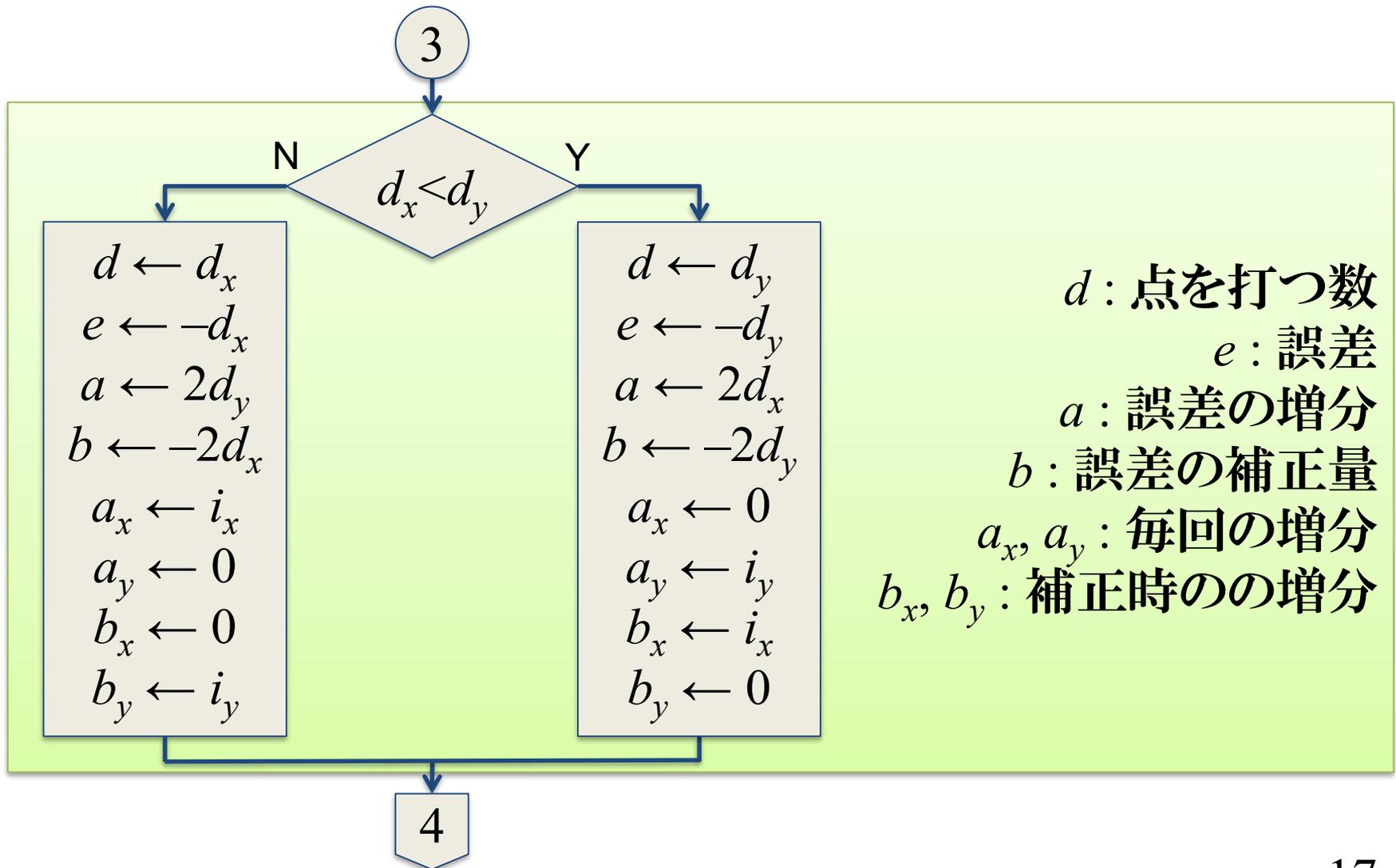
# Bresenham のアルゴリズム (1)



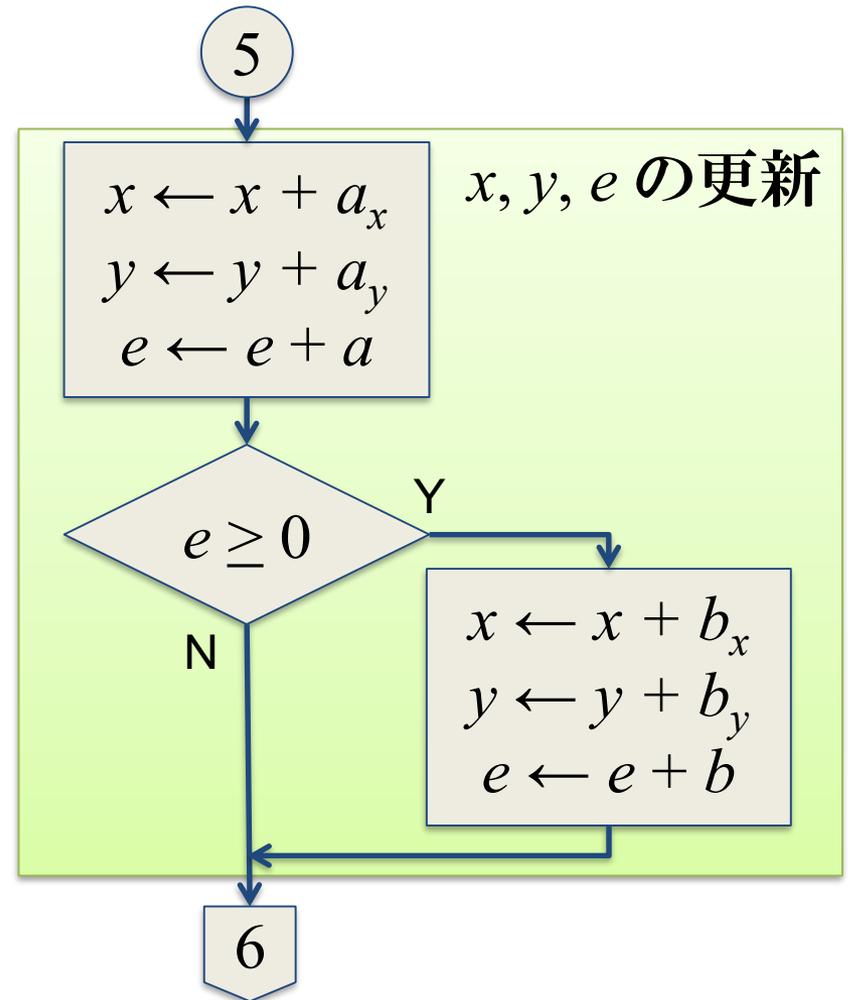
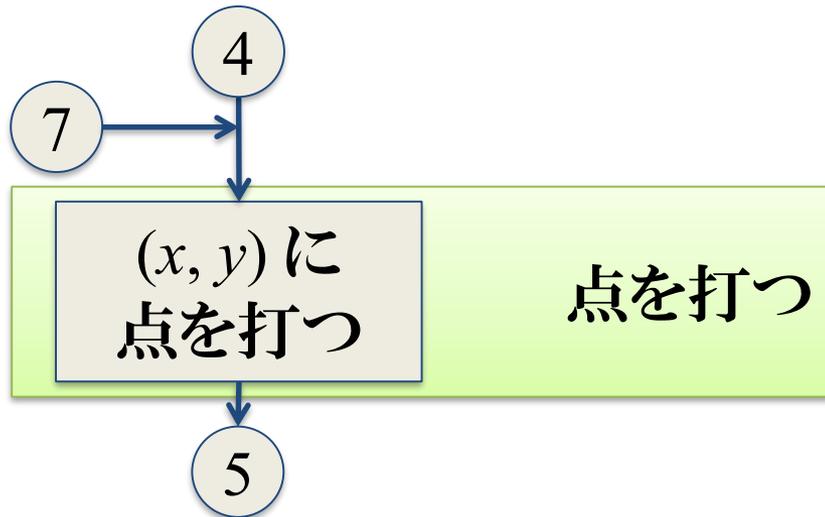
# Bresenham のアルゴリズム (2)



# Bresenham のアルゴリズム (3)



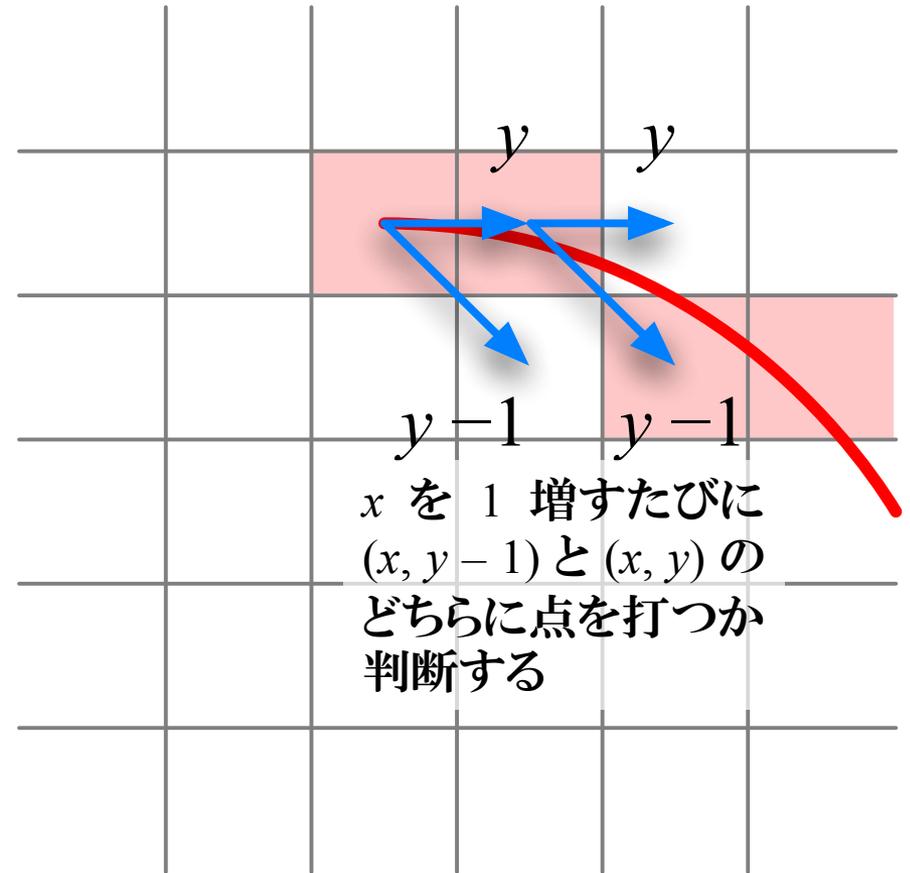
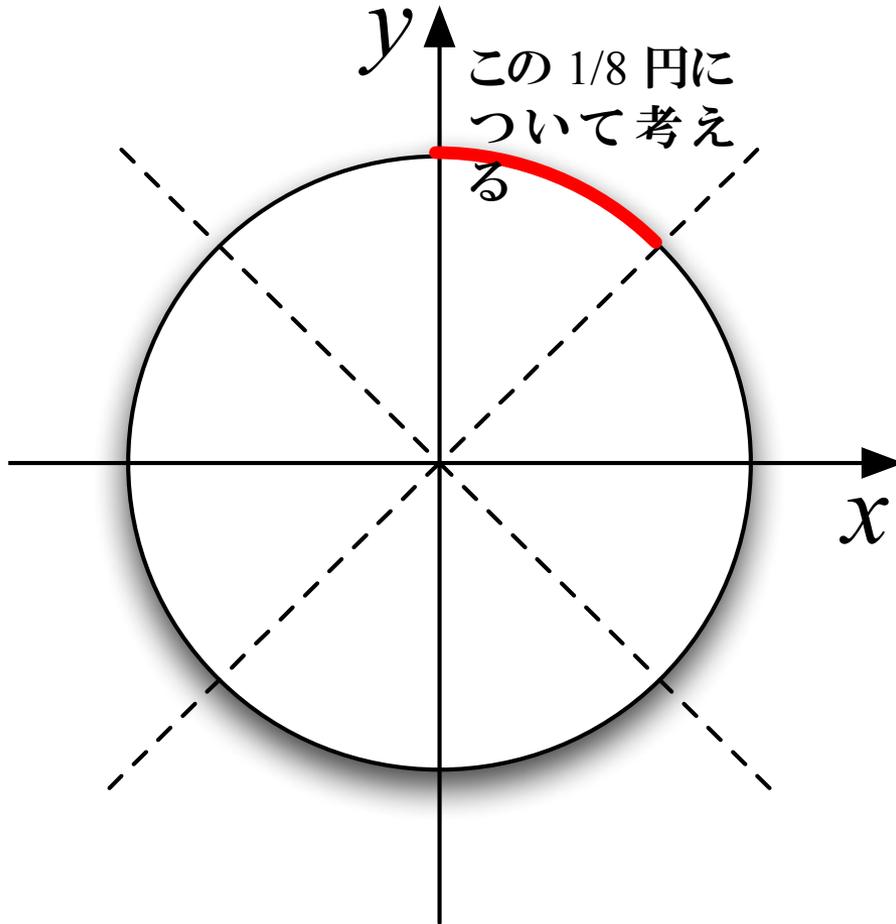
# Bresenham のアルゴリズム (4)



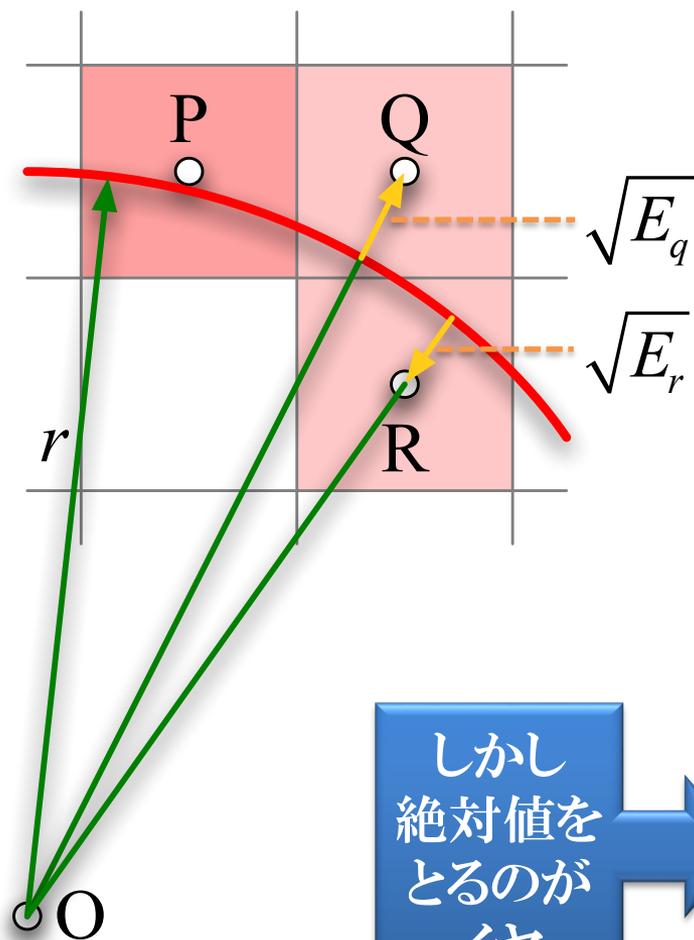
# Bresenham のアルゴリズム (5)



# 円を描く



# 真の円との二乗誤差による判定



$$\overrightarrow{OP} = (x_i, y_i)$$

$$\overrightarrow{OQ} = (x_{i+1}, y_{i+1}) = (x_i + 1, y_i)$$

$$\overrightarrow{OR} = (x_{i+1}, y_{i+1}) = (x_i + 1, y_i - 1)$$

真の円の半径  $r$  に対する二乗誤差

$$E_q = |\overrightarrow{OQ}|^2 - r^2$$

$$E_r = |\overrightarrow{OR}|^2 - r^2$$

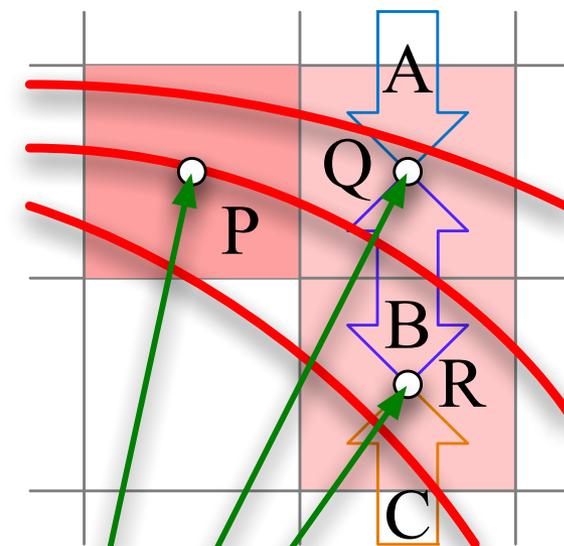
このとき

$$\left. \begin{array}{l} |E_q| < |E_r| \Rightarrow Q \\ |E_q| > |E_r| \Rightarrow R \end{array} \right\} \text{を選択する}$$

しかし  
絶対値を  
とるのが  
イヤ

# 絶対値を使わずに判別する

- $d_{i+1} = E_q + E_r$  とおく
- 真の線が
  - Aを通るコース(Qを選ぶ)
    - $E_q < 0, E_r < 0 \Rightarrow d_{i+1} < 0$
  - Cを通るコース(Rを選ぶ)
    - $E_q > 0, E_r > 0 \Rightarrow d_{i+1} > 0$
  - Bを通るコース
    - $E_q > 0, E_r < 0$
    - Qを選ぶべきコースなら
      - $|E_q| < |E_r| \Rightarrow d_{i+1} < 0$
    - Rを選ぶべきコースなら
      - $|E_q| > |E_r| \Rightarrow d_{i+1} > 0$



したがって  
 $d_{i+1} < 0$  ならば Q  
 $d_{i+1} > 0$  ならば R

# $d_{i+1}$ を漸化式で表す

$$d_{i+1} = E_q + E_r = \{ (x_i + 1)^2 + y_i^2 - r^2 \} + \{ (x_i + 1)^2 + (y_i - 1)^2 - r^2 \}$$

$$d_i = \{ (x_{i-1} + 1)^2 + y_{i-1}^2 - r^2 \} + \{ (x_{i-1} + 1)^2 + (y_{i-1} - 1)^2 - r^2 \}$$



$$\begin{aligned} d_{i+1} - d_i &= \{ (x_i + 1)^2 + y_i^2 - r^2 \} + \{ (x_i + 1)^2 + (y_i - 1)^2 - r^2 \} \\ &\quad - \{ (x_{i-1} + 1)^2 + y_{i-1}^2 - r^2 \} - \{ (x_{i-1} + 1)^2 + (y_{i-1} - 1)^2 - r^2 \} \end{aligned}$$

# $d_i < 0$ のとき

- この場合は Q を選択

$$\begin{array}{l} \downarrow \\ x_i = x_{i-1} + 1 \\ \uparrow \\ y_i = y_{i-1} \end{array}$$

- これを代入すれば

$$d_{i+1} - d_i = 4x_{i-1} + 6$$

$$d_{i+1} = d_i + 4x_{i-1} + 6$$

# $d_i \geq 0$ のとき

- この場合は R を選択

$$\begin{array}{l} \downarrow \\ x_i = x_{i-1} + 1 \\ \uparrow \\ y_i = y_{i-1} - 1 \end{array}$$

- これを代入すれば

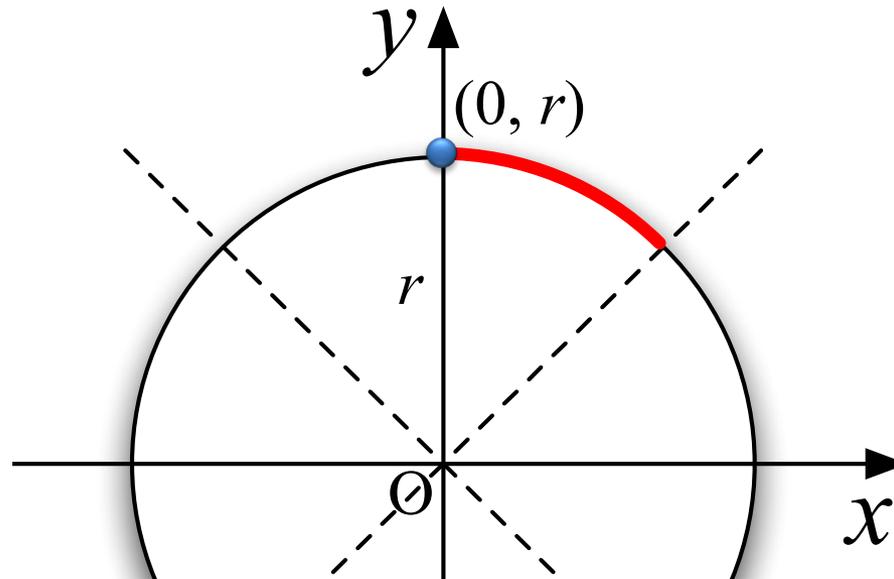
$$d_{i+1} - d_i = 4(x_{i-1} - y_{i-1}) + 10$$

$$d_{i+1} = d_i + 4(x_{i-1} - y_{i-1}) + 10$$

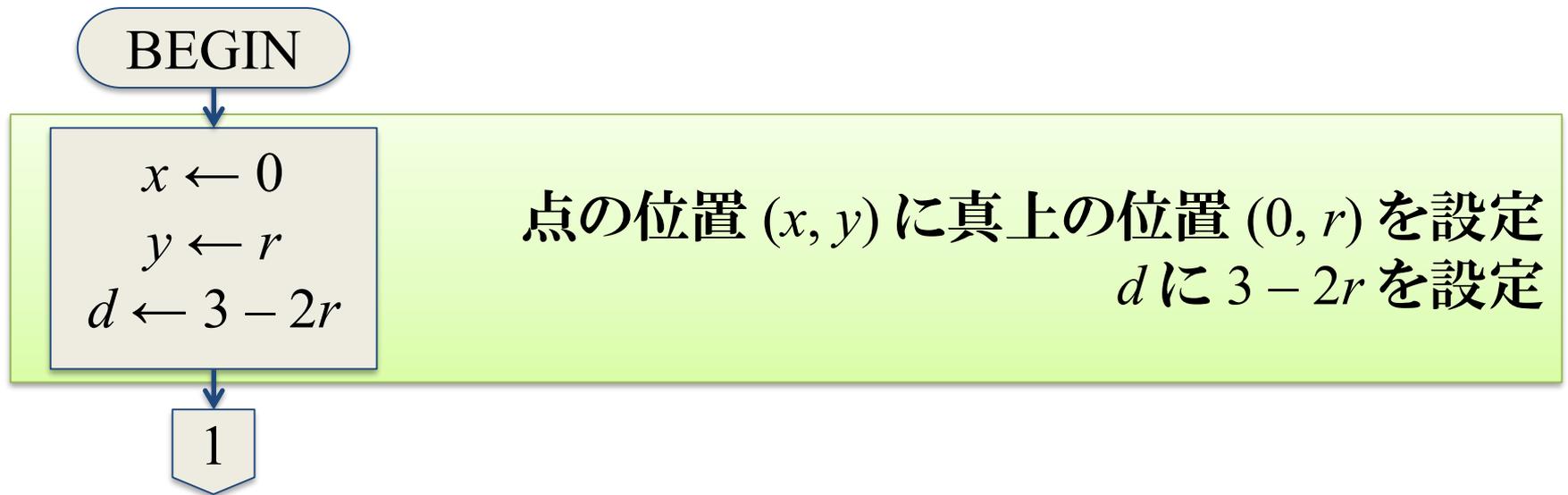
# 起点(真上)では

●  $x_0 = 0, y_0 = r, d_0 = 0$

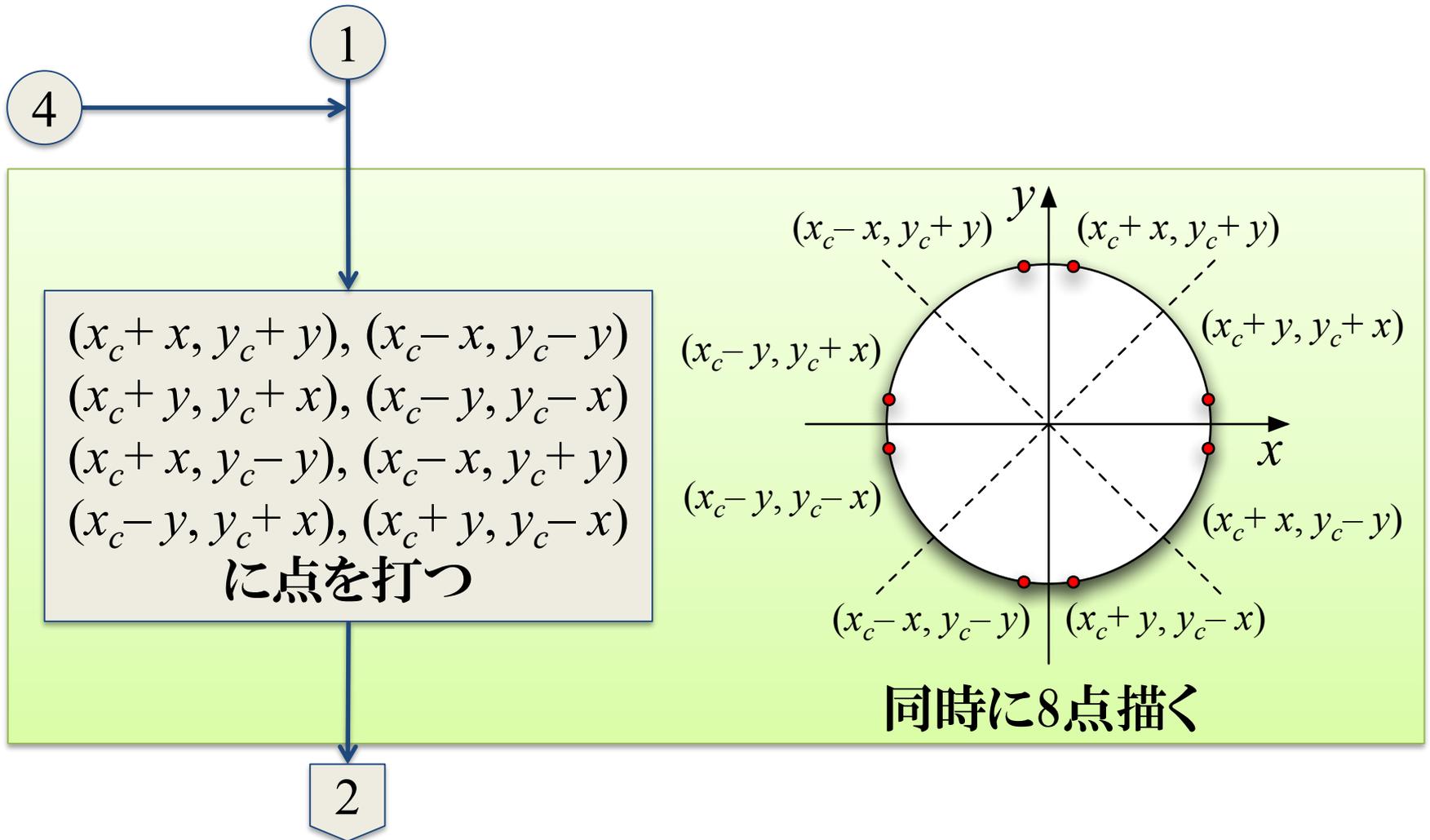
$$d_1 = \{ (x_0 + 1)^2 + y_0 - r^2 \} + \{ (x_0 + 1)^2 + (y_0 - 1) - r^2 \}$$
$$= 3 - 2r$$



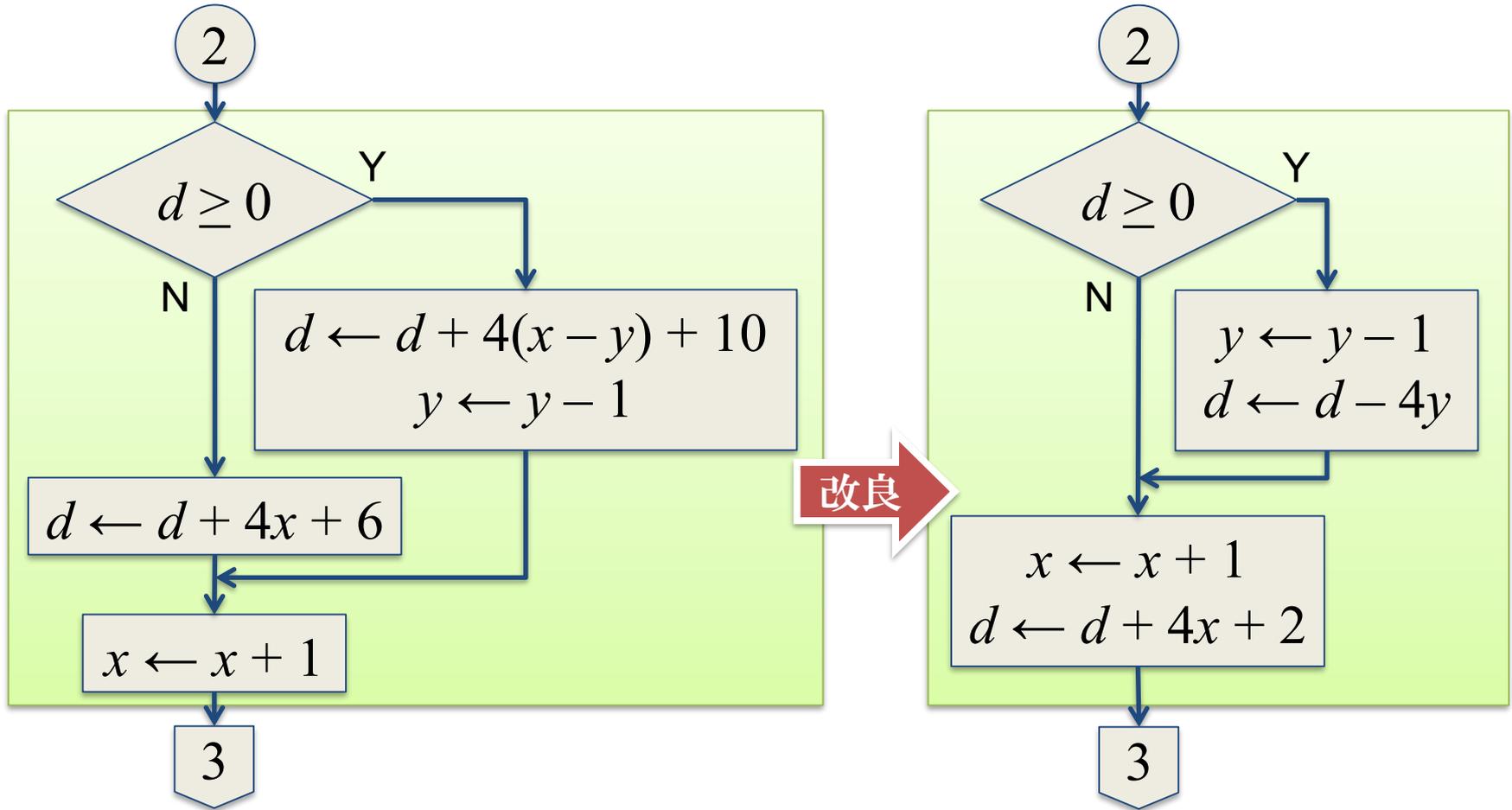
# Michener のアルゴリズム (1)



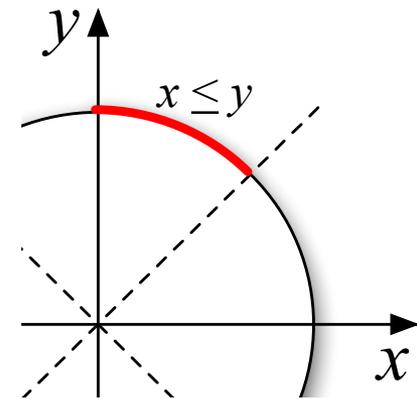
# Michener のアルゴリズム (2)



# Michener のアルゴリズム (3)



# Michener のアルゴリズム (4)



おわり